

加速する月面都市開発への挑戦



●トレンドインタビュー
株式会社パスコ
代表取締役社長
高橋 識光氏



— フカボリ! 時空間DXの SuperMap — SuperMap iObjects 11i

SuperMap GISでは幅広い利用シーンで活躍する製品ラインナップを提供しています。今回は、様々なニーズと開発環境に対応した開発キット (SDK) 製品である SuperMap iObjects をフカボリ! します。

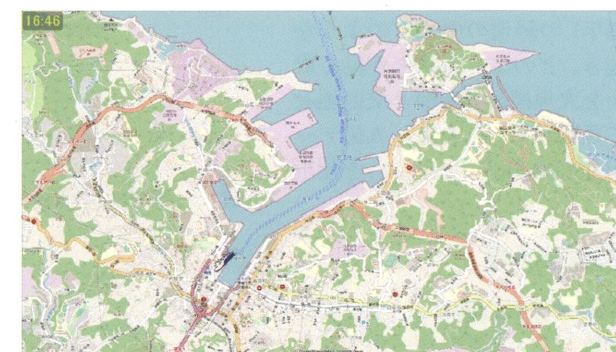
SuperMap iObjectsとは

SuperMap iObjectsとはGISアプリケーション開発のための開発キット (SDK) です。開発したアプリケーションを再頒布しランタイムライセンスで動作します。「.NET」「Java」「C++」などのパッケージをはじめ、空間ビッグデータに対する分散型保存管理と解析機能を提供する「for Spark」、iObjects Javaベースで動作する、機械学習・深層学習のライブラリを利用した「Python」、ブロックチェーン技術に対応した「for Blockchain」の他、SDK製品としてゲームエンジンと高度に融合させ、より3D機能を美しく見せる「Hi-Fi 3D」など、様々な開発言語や技術に対応しており、構築したいアプリの機能や環境によって最適なアプリケーションを、クラスライブラリのAPI (GIS機能) を使って地図やGISが専門外の開発者の方でも簡単に開発することができます。

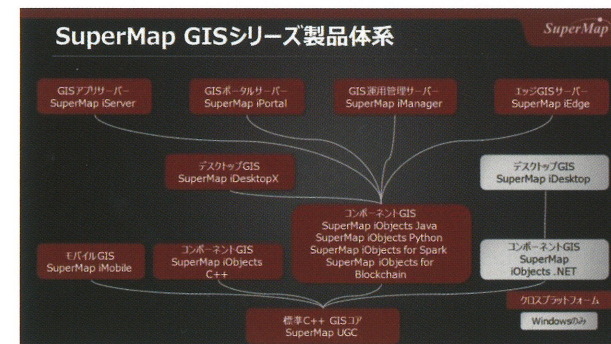
ちなみに、サーバー製品・デスクトップも標準C++GISコアをベースにしたiObjectsで構築しています。

在位置をモニターで確認する事ができる Location Display System (LDS) を短期間で開発されました。

船舶に搭載されたGPSの位置情報を元に地図上に船の位置 (アイコン表示) を表示し、リアルタイムな位置情報を提供しています。他にも、緊急時の案内動画やPR画像などを出力する機能を備えており、乗客の役に立つ情報を提供することもでき、今後もさらに拡張されていくということです。



システムイメージ画面 (戸高製作所様ご提供)



製品体系とiObjectsの立ち位置

GISはもはや単独ではありえない!

iObjectsは自社製品/サービスの開発だけでなく、他のシステムとの連携、自社システムの空間情報に関連する機能の拡張といったシステム規模の大小にかかわらず、柔軟な開発が可能です。また、AI・Blockchainといった先端技術の開発も可能で、例えば、iObjects Pythonを使って開発することにより、学習データの作成から評価や、機械学習による画像分析や予測といった機能を利用することもできるため、既存のシステム サービスを機能拡張してGeoAIを実現することもできます。また、機能部分のみの拡張では、ゼロから開発する場合に比べて、費用、学習コストを大幅に削減できます。

さらに、他のSuperMap製品との連携では、デスクトップ製品やサーバー製品のデータ連携やデータタイプの共通性などといった、製品自身が持つメリットを活かして、製品が提供するサービスや機能を独自のものにカスタマイズ・拡張することで、性能アップを図りながら、時空間DXを支える重要なツールとしてご活用いただけます。

(文: 日本スーパーマップ株式会社 事業統括部)

フカボリ! ユーザー開発事例

GISアプリケーション開発に携わる際、これまでに構築したことのない機能やSDK製品を利用するハードルは高いかと思われがちです。SuperMap iObjectsなら、初めてGISに触れる開発者様でも、専門的と思われがちなGISを意識せずに高度なGISアプリケーションも作れる、通常のIT製品の仲間として高く評価をいただいています。

直近の事例の一つとして、初めてSuperMap iObjects SDKを選んでいただいた戸高製作所様 (大分県大分市) では、海外の旅客船やフェリーの船内において、乗客が船の現



【お問い合わせ】 日本スーパーマップ株式会社 事業統括部
TEL : 03-5419-7912 E-Mail : sales@supermap.jp HP https://supermap.jp